

「パートナーシップ構築宣言」

当社は、サプライチェーンの取引先の皆様や価値創造を図る事業者の皆様との連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築するため、以下の項目に重点的に取り組むことを宣言します。

1. サプライチェーン全体の共存共栄と規模・系列等を超えた新たな連携

直接の取引先だけでなくサプライチェーンの深い層の取引先に働きかけることにより、サプライチェーン全体での付加価値向上に取り組むとともに、既存の取引関係や企業規模等を超えた連携により、取引先との共存共栄の構築を目指します。

(個別項目)

- a. グリーン化の取組（脱・低炭素化技術の共同開発、省エネ診断に係る助言・支援、生産工程等の脱・低炭素化、グリーン調達 等）
CO2 の削減を目標とした成型部品の軽量化のための製造技術支援。また ISO 9001 の取得や「グリーン調達推進ガイドライン」の遵守など、各社が取り組んできたノウハウの共有。その他にも企業独自の品質・環境への取り組みについて意見を交わしている。
- b. 健康経営に関する取組（健康経営に係るノウハウの提供、健康増進施策の共同実施 等）
2011 年から毎年、100 kmウォーキングというイベントを開催し、社内のみでなく取引先様や地域の方々にも多く参加していただき親交を深めていた。コロナ禍となった 2020 年からは 100 kmウォーキングを取りやめ、社内の多目的室を柔道場に改装し、週に 3 回ほど体幹トレーニングを中心とした柔道への取り組みを行っている。この柔道も社外からの参加を募っており、直接の取引先様だけでなくその先の取引先様も参加していただいている。こういった取り組みも評価の一つとなり、2022 年から現在まで健康経営優良法人の認定をいただいている。

2. 「振興基準」の遵守

発注方法の改善、対価の決定の方法の改善、代金の支払方法の改善、型等に係る取引条件の改善、知的財産の保護及び取引の適正化等を含む委託事業者と中小受託事業者との望ましい取引慣行（受託中小企業振興法に基づく「振興基準」）を遵守し、取引先とのパートナーシップ構築の妨げとなる取引慣行や商慣行の是正に積極的に取り組みます。

3. その他（任意記載）

直接の取引先だけでなく、サプライチェーンの更に先まで価格転嫁が可能となるような価格決定を行い、その旨をサプライチェーンの隅々まで伝わるよう情報発信します。

当社が関わるサプライチェーン全体の共存共栄のため、直接の取引先をはじめ、サプライチェーン全体へのパートナーシップ構築宣言の普及を図ります。

約束手形の利用はすでに廃止しており、大企業間取引も含め、現金払いや電子記録債権へ移行しております。

2026年1月1日

受託中小企業振興法に基づく「振興基準」の内容を理解した上で宣言します。

ヒロボー株式会社

企 業 名

代表取締役社長 松坂 晃太郎

役職・氏名（代表権を有する者）

（備考）

- ・本宣言は、（公財）全国中小企業振興機関協会が運営するポータルサイトに掲載されます。
- ・主務大臣から「振興基準」に基づき指導又は助言が行われた場合など、本宣言が履行されていないと認められる場合には、本宣言の掲載が取りやめになることがあります。